

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	日穀製粉株式会社					
代表者名	氏名	小山 紀雄	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野市南千歳一丁目16番地2					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	09 食料品製造業				
主たる事業の概要	そば粉、そばミックス粉、小麦粉、そば米、そば茶、米粉の製造および販売					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	2,080	2,018	1,950	1,926	2,014
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	3,833	3,718	3,587	3,544	3,715
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	0
自動車の台数	台	21		20	19	19
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	56				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度
------	------	----

計画期間	2020 年度～	2022 年度
------	----------	---------

報告対象年度	2022	年度
--------	------	----

3 計画書（報告書）の公表方法等

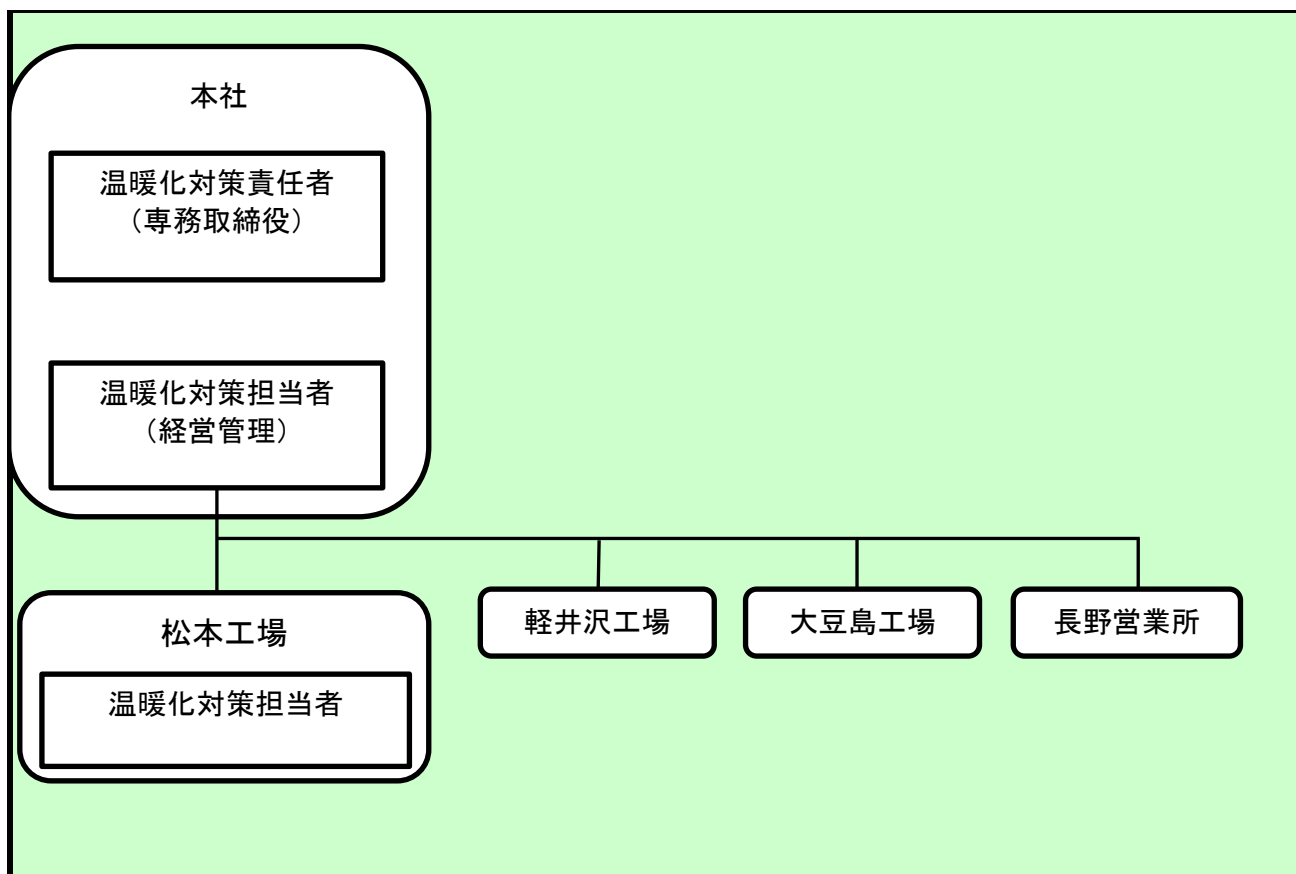
<input type="checkbox"/>	ホームページ	場所：日穀製粉(株)松本工場 時間：9:00～17:00 担当部署：生産技術課 連絡先：0263-25-6360
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号
(総括票)

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

企業活動による環境への影響を認識し、エネルギー及び資源の効率的な活用及び環境保全の推進を行う。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

なし

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	3,833	t-CO ₂	年間加工数量	34.48	単位	千t
2019年度	調整後排出量	3,833	t-CO ₂	基準原単位	111.16	t-CO ₂ /	千t
目標年度	目標排出量	3,718	t-CO ₂	目標原単位	107.83	t-CO ₂ /	千t
2022年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	設備のエネルギー使用量をモニタリングし、無駄なエネルギー使用量を把握し削減を行う。又、設備更新時は高効率機器を積極的に導入する。これらより、3年間で二酸化炭素の排出量原単位を3%削減する。						
第一年度	排出量	3,587	t-CO ₂	年間加工数量	30.53	単位	千t
	削減率	6.41	%	原単位	117.51	t-CO ₂ /	千t
2020年度	調整後排出量	3,587	t-CO ₂	原単位削減率	-5.72	%	
	削減率	6.41	%				
排出量等の増減理由	【増加要因】前年に対し加工数量が減少し、それにより設備の待機時間が増えたことにより、照明、空調機器等の生産数量に対する電力消費の効率が低下。 【減少要因】松本工場コンプレッサの負荷寄せによる適切な台数運転、及びエア漏れ箇所修繕により消費電力の削減。						
第二年度	排出量	3,544	t-CO ₂	年間加工数量	31.10	単位	千t
	削減率	7.53	%	原単位	113.95	t-CO ₂ /	千t
2021年度	調整後排出量	3,544	t-CO ₂	原単位削減率	-2.51	%	
	削減率	7.53	%				
排出量等の増減理由	【増加要因】2つの製粉工程において加工量が大きく増加。 【減少要因】 ・コンプレッサの大規模なエア漏れ修繕、負荷寄せ実施。 ・低温倉庫空調の自動運転停止制御構築。 ・原材料の構成変動により、生産設備エネルギー消費量の減少。						
第三年度	排出量	3,715	t-CO ₂	年間加工数量	32.21	単位	千t
	削減率	3.07	t-CO ₂	原単位	115.34	t-CO ₂ /	千t
2022年度	調整後排出量	3,715	t-CO ₂	原単位削減率	-3.77	%	
	削減率	3.07	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	【増加要因】生産設備「減菌機」において設備トラブルが発生し、安定加工のため2021年度に対し、加工流量を下げての運転としている。その結果、供給蒸気のボイラー運転時間が増え、都市ガス使用量が前年比115%、排出量100t-CO ₂ 増加。 【減少要因】 ・コンプレッサの一部集約化、コンプレッサの元圧減圧。						

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2019 年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2020 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2021 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	56	t-CO ₂			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	310500	生産工程別のエネルギー管理	2020～ 2021	5	2021	9
2	エネ起	360703	コンプレッサーの運転管理	2020～ 2022	5	2020～ 2022	42
3	エネ起	380752	LEDの導入	2021～ 2022	20	2022	2
4	エネ起	360705	ポンプ、ファン、ブロワー、コンプレッサー等の保全管理			2021	20
5	エネ起	360702	ファン及びブロワーの運転管理			2021	4
6	エネ起	330299	空気調和設備、換気設備に係るその他の削減対策			2022	10
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光発電設備 (軽井沢工場)	kW	150	0	150	150	150

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	3,218	1	2,976	1	2,908	1	3,037
1,500k1未満	5	615	5	611	5	636	6	678
合計	6	3,833	6	3,587	6	3,544	7	3,715

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	
CH ₄	0	0	0	
N ₂ O	0	0	0	
HFC	0	0	0	
PFC	0	0	0	
SF ₆	0	0	0	
NF ₃	0	0	0	
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)				
合計	0	0	0	0
自動車総数	21	20	19	19
次世代車導入割合				

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	特になし
自転車利用促進	特になし
来客者の交通対策	特になし
物流の合理化	運送トラックの積載率を向上させ、運送便数を削減する取組み

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		
	実施内容		実施年度
<input checked="" type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		2021
<input type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		
	名称		
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input checked="" type="checkbox"/> その他	松本工場事務所棟エアコン室外機(重負荷時 合計40kW相当)へ遮光ネットの取付け		2021~2022

1.5 自由記載欄

<p>【松本工場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重負荷が予測される夏季平日3日間を整備にする操業調整を行い、この期間内のデマンド値削減を行った。 ・省エネ対策効果の発表(12回/年 業務革新プロジェクト会議内にて)
